

日 時 令和6年7月18日(木) 18時30分 ~19時30分  
場 所 大坊小学校  
対象地区 岩館、原田、大坊、三町会  
参加人数 27名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○大坊小統合後のスクールバスの利用について (市民から) 大坊小が柏木小に統合するとなると、歩いて通学するには距離があつて大変だと思うが、スクールバスを運行させる計画はあるか。</p> <p>(市から) ・現時点で決まっていないが、子どもたちに無理がかからず、安全に通学できるように努めたいと考えている。 ・大坊小学校については、複式学級の解消を図るため、令和8年4月の統合を目指して検討を進めているところである。 ・スクールバスの運行については、7月末に設置予定の学校統合準備委員会・総務通学部会において、検討することとしている。</p>
<p>○統合後の小学校の校名について (市民から) 統合後の小学校の校名はどのようになるのか。</p> <p>(市から) ・新校の名称は、柏木小学校とする方向で考えている。</p> <p>(市民から) 合併後20年を迎えることもあり、平川西小学校というのはいかがか。</p> <p>(市から) ・意見として参考とさせていただき、今後検討していきたい。</p>
<p>○集会施設の大規模改修について (市民から) 今年度、岩館町会の集会施設の大規模改修が予定されているが、担当課と打合せを行った際、災害に強い集会施設となるよう改修できないかと提案したところ、予算の都合で難しいと回答があつた。本庁舎のように、各地域にある集会施設も災害に強い施設となるべ</p>

きではないか。

(市から)

- ・各地域にある集会施設については一時的な避難施設であり、耐震基準を満たすよう改修を行ってきた。仮に、大規模な避難が必要となった際には、ひらかわドリームアリーナなどが避難所となるため、ご理解いただきたい。

○文化センターと佐藤ぶん太さんの活用について

(市民から)

平川市には、文化センターのように設備が整っている施設があり、大坊出身の佐藤ぶん太さんのように素晴らしい笛の技術を持った人材がいる。これらを活用して文化を盛り上げていくべきではないか。

(市から)

- ・文化センターでは、小学生・中学生を対象に、1年に1回、芸術鑑賞という事業を実施している。今年の小学生の部では、7月3日に佐藤ぶん太さんのコンサートを開催している。
- ・佐藤ぶん太さんには、あどの祭りや蓮の花まつりなどでも演奏していただいたこともあり、多くの方に聞いていただきたいと考えているので、機会があったら是非参加してもらいたい。

○合葬墓の整備について

(市民から)

合葬墓の整備について、検討状況を教えてほしい。

(市から)

- ・令和6年1月にアンケートを実施したところ、合葬墓のニーズが高いことが確認された。現在、関係者と意見交換を行いながら、整備する方向で検討を進めているところである。

○町会運営について

(市民から)

定年を過ぎても生活のために就労している方も多く、町会の仕事をやりたがる人が少ない。今後はますます町会役員のなり手が不足すると思われるが、どのように考えているか。

(市から)

- ・基本的には自らの地域は自らで維持してもらいたいと考えているが、高齢化が進み、それが困難となっている町会も出てきている。
- ・そこで、概ね小学校区単位で複数の町会が集まり、地域の課題は地域で解決するという

地域運営組織という考え方があり、松崎小学校区では西地区まちづくり委員会が様々な活動を展開している。

- ・市では、他の地域においても地域運営組織の設立に向けた取組を進めていることをご理解いただき、地域の維持に向けて、今後ともご協力をお願いしたい。

(市民から)

町会のみならず、役員のみならず、婦人会や老人クラブなど、様々な分野で起こっているが、上手くいっている事例も幾つかあると思われる。そのような好事例を発表する機会があればよいのではないか。

(市から)

- ・どのような形で発表する機会を持てばよいか、効果的な方法を検討してみたい。

○40代・50代へのサポートについて

(市民から)

現在、平川市では、充実した子育て支援が評価されていると聞くが、40～50代へのサポートも検討できないか。

(市から)

- ・40～50代に限定したものではないが、令和5年9月より、物価高騰により経済的な負担増に直面する市民を支援するため、水道基本料金減免等事業を実施した。どのような支援をしたらよいか難しいところであるが、皆さんの声を聞きながら検討していきたい。

○耕作できなくなった農地の買い取りについて

(市民から)

小規模な水田を所有しているが、後継者が決まっておらず、将来的に放棄地となることが予想される。そういった土地を市で買い取りすることはできないか。

(市から)

- ・小規模な農家にとって、後継者の育成は難しく、市としても課題であると捉えている。後継者の育成も含めた農業者に対する支援全般について、ご意見をお聞きしながら対応していかなければならないと考えている。
- ・農林課では、農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、「地域計画」というものの策定に取り組んでいる。「地域計画」には、10年後の1筆毎の耕作者をイメージとして示す「目標地図」を作成することとされており、地域の農業について話し合う座談会を開催しているところである。この中では、耕作できなくなる方がどの程度いるのかといった状況も見えてくると思われるため、今後、どのような支援が必要か検討していきたい。

○猫や蜂への対応について

(市民から)

大坊町会に猫と蜂が多く、危険であると感じているが、どのようにしたらよいか。

(市から)

- ・蜂については、業者を紹介するなどできるため、市民課まで相談してもらいたい。
- ・猫については、有害鳥獣ではないため、法律上、市役所では直接的に対応することはできないが、適切に管理するようチラシにより周知したり、飼い主が判明している場合は直接訪問してお願いしたりするなどの対応は可能であるため、こちらも市民課まで相談してもらいたい。

○平川の雑木について

(市民から)

平川にはアカシアなどの雑木が生い茂っており、大雨などの災害時には洪水の要因になるものと思われるが、対応できないか。

(市から)

- ・河川管理者が自治体からの要望も聞きながら伐採をしていると聞いているが、なかなか追いついていない状況である。地元住民からの意見でもあるため、市としては粘り強く要望していきたい。

○通学路への歩道の整備について

(市民から)

通学路の安全対策として、歩道の整備をお願いしたい。

(市から)

- ・通学路については、年に数回、学校や警察とパトロールを行い、点検したうえで対策を検討している状況である。また、7月末に設置予定の学校統合準備委員会・総務通学部会においても、通学路の安全対策が話し合われていくこととなる。